

亀の子クラブ

NPO 法人環境ボランティアサークル 亀の子隊 通信

NO. 266 2023年6月29日号

発行責任 亀の子隊事務局

6月豪雨の影響が西の浜にも

通算328回目の

西の浜クリーンアップ

海ゴミゼロウィーク

2023年6月3日

参加者数 102名

ゴミの総重量 350Kg

キャップの数 870個

通算329回目の

西の浜クリーンアップ

2023年6月18日

参加者数 215名

ゴミの総重量 680Kg

キャップの数 2525個

通算330回目の

西の浜クリーンアップ

2023年6月25日

参加者数 265名

ゴミの総重量 660Kg

キャップの数 2392個

6月は3回の活動がありました。3日の活動には中部実業団駅伝参加チームからトヨタ自動車のチームが参加してくれました。服部勇馬選手や西山雄介選手など世界で活躍している選手も参加していました。アラコさんの参加もありました。

6月18日の活動にはトヨタ自動車田原工場車体部、25日の活動にはトヨタ紡織職層会のみなさんが大勢で参加してくれました。

6月2日にあった豪雨の影響で浜は川から流れ出た葦や竹類に混じって大量のゴミがありました。

三河地方の市町の名前が入ったゴミ袋や企業名が入ったコンテナなどもありました。

ペットボトルは、通常の何倍もありました。キャップの数を見てもらえばわかりますが、大変な量です。一度の活動範囲は、300M前後です。そこに、2000を超えるペットボトルがあるのです。あれだけの豪雨だと、管理していたものも流されてしまった可能性もあります。

残念なのは、こうした豪雨に乗じて捨てたのかなと疑いたくなるようなゴミも多くあったということです。

堤防際に、上から捨てられているだろうというものは時々見つけます。小型のプロパンガスボンベ、ガソリンの携帯缶、布団、何枚もまとめられた段ボールの束などなど。こうしたものを見つくと、本当に残念な気持ちになります。

この3回の活動の中で、珍しく田原市のゴミ袋やアツミの袋を見つけました。東にされて捨てられていたダンボーには伊藤海苔店の名前が入っていました。

しかし、活動に参加してくれる人たちはほとんどの人が積極的に活動をしてくれます。大きなものはもちろん、小さくちぎれ、マイクロプラスチックに近いようなものも葦や木切れの中から掻き出してくれます。一人何袋も集めてゴミの溜まっているところと中央のゴミを集積するところを何往復もしてくれます。一人で5~6袋集めてくれる人もいます。

活動の始まる前の浜を見て、今日は多いなあと思うことが多いですが、活動終了後は期待以上のきれいさになっていることが多いです。

積極的に参加してくれる人たちに本当に感謝です。なかなか一人ずつ声をかけることができなくて申し訳なく思います。みなさん、ありがとうございます。

7月の活動は、17日(月)海の日です。みんなできれいな海を守りましょう。

